

きっとまた会えるね^あ

■ 楽曲データ

歌詞：辛島美登里 作詞

楽曲：辛島美登里 作曲（藤林由里 編曲）

発表：浄土真宗本願寺派 2008年

初演：—

初出：『讃歌集 二部合唱』第8巻 本願寺出版社 2012年

管理番号：M2636

■ 創作の経緯

親鸞聖人750回大遠忌記念作品のアニメ『親鸞さま——ねがい、そしてひかり。』（2008年）のテーマソング。

■ 校訂報告

校訂譜：『聖歌・讃歌集』第2巻収録

底資料：編曲者手稿譜

比較資料：コード譜

校訂の詳細：特になし

■ 解説

どうしてる？ 今どこにいる？ きっとまた会えるね——この言葉を、私たちは日常のさまざまな場面で、幾度口にしてきたでしょうか。それは、久しぶりに顔を会わせた旧友への喜びの声であったり、あるいは去来する思い出に、ふと漏れた独り言だったかもしれません。しかしながら、何げなく発せられた「どうしてる？」の一言が、この一年〔2011年〕ほど切実に聞こえたことはなかったように思います。

仏教讃歌《きっとまた会えるね》は、皆さんそれぞれが「どうしてる？ 今どこにいる？」と呼びかけたい人を思いながら歌っていただけます。透き通るような情感と、やさしさに溢れた一曲です。

◆ 作者について

この作品を手がけたのは、伸びやかなヴォーカルが魅力のシンガーソングライター、辛島美登里さんです。辛島さんは、1980代後半から自作をピアノによる弾き語りのスタイルで発表し、幅広い世代の支持を得ました。他の歌手への楽曲提供も多く、また最近では、オーケストラをバックにコンサートを行うなど、精力的に活動しています。

なお、この歌の創作にあたり、『本願寺新報』にインタビュー記事が掲載されました(2008年2月10日号)。その紙面で辛島さんは、「(親鸞さまは)亡くなられて750年経っても、いつまでも私たちの心に残っていて『いつか会えるよねって』。もしかしたらすぐそばで待っていてくださって、すぐに会えるという希望につながるような歌にしました。(中略)歌詞の『あなた』は、親鸞さまのことなんですよ」と語っています。

◆歌詞の内容について

辛島さんが作詞・作曲の両方を手掛けているので、歌詞の表現がメロディーにぴったり合っています。言葉に引き寄せられるようにして音楽が流れ、音楽の自然なリズムのうちに言葉が生かされている、そのような印象を受けるでしょう。

まず、歌詞全体を見渡してみましょう。この歌では、地球が悠久の時を刻んでいくのに対して、一秒のかけがえのなさが語られるのですが、それぞれの場面で、歌詞の情景が詩的な表現で描き出され、脳裏にありありと浮かんでくるようになっています。

これらの言葉は、単に美しい情景描写のために置かれたのではなく、「私」の心模様を表していると感じ取ったほうがよいでしょう。春の日差しのように穏やかでいるときも、秋の澄み切った空のような心境のときも、「あなた」のことを思うひとときに豊かな充足を感じる、そういった意味があるのではないのでしょうか。深い余韻を残す詞です。

◆歌うときのヒント

譜面を見ると、8分音符と16分音符が細かく配置されていますが、音楽としてはフレーズを大きく取り、スケール感を持って歌いたい曲です。ひとつの文字に一音が当てられていても、そのことに捕われすぎないで、一呼吸で歌えるフレーズのまとまりを大切にしてください。

①歌いだしの8小節(7~14小節目)は、曲中でリズムがもっとも取りにくい部分です。2小節をひとまとまりにして、縦のリズム(拍感)とメロディーの流れのバランスをうまくつかみましょう。また、この8小節間は、ひとフレーズ(2小節)ごとに開始の音が高くなっている(ソ→ラ♭→シ♭)、少しずつ盛りあげて最後のフレーズで収めるという気持ちで歌います。

②次は5小節がひとまとまりです(15~19小節前半)。出だしでマイナー(短調)の和声に変わります。そのニュアンスの変化を感じ取って。

③16小節目は、3拍目裏の8分休符で呼吸を充分とり、音を伸ばしている間にエネルギーが切れてしまわないようにします。長い音符は、次第に視野が開けていくような幅広いイメージを持って力強く。17小節目も同様です。

④19小節目4拍目からが、いちばん盛りあがる部分(サビ)です。1小節ずつ同じようなメロディーが繰り返されますが、ここでも1拍目の音が「ド→レ→ミ♭」と順に上がっていきます。これらの音が全体にきれいなラインを描くように、なめらかに歌いましょう。次の4小節も同様です。

⑤28小節目以降(2番は35小節目以降)は、言葉の粒立ちをはっきりと。28・29小節目2拍目裏の16分音符は軽く、間延びしないようにします。

◆楽譜・音源について

本願寺出版社より、辛島美登里さんご自身が歌われているシングルCD『きっとまた会えるね』（カラオケ付き）が発売されています。

二部合唱版（ピアノ伴奏）は、楽譜が楽譜集『讃歌集 二部合唱』第8巻に、音源はCD『讃歌集二部合唱 あの空見れば』（カラオケ付き）に収録されています。

解説執筆：石川紀久子（本願寺仏教音楽・儀礼研究所 [現・浄土真宗本願寺派総合研究所仏教音楽・儀礼研究室] 委託研究員）

※本解説は、「メロディーの宝石箱」No. 89（仏教婦人会総連盟機関誌『めぐみ』第217号収録）を加筆・修正のうえ、転載。

Copyright: Jodo Shinshu Hongwanji-ha Research Institute. All Rights Reserved.